



議 会

によどがわ

だより

2009.2
第14号

見上げこぐらん
夢は見るもの
目標は達成するもの

風船飛ばし（十月十七日・池川小）



有機野菜収穫作業（1月26日・日浦）

十二月定例会

本庁舎の耐震診断は…2P

いつの間にか消えた集会所…5P

携帯電話は持たせるな…6P

出馬は決断したか…10P

中・津江間をつなげ…13P

高知県仁淀川町議会

TEL 0889 (35) 0111 / FAX (35) 0571 / 発行人: 議長 若藤敏久 / 編集: 議会だより特別委員会 / 印刷: 資佐川印刷所

一 般 質 問

12月定例議会は、9日・10日に開催。町長提出の報告1件、条例改正、補正予算等9件、人権擁護委員の推薦1件、議員提案の意見書2件を可決。

一般質問は8人が町政の当面する課題に活発な議論を展開した。

あ
な
た
に
代
わ
つ
て

聞
き
ま
し
た



本庁舎の耐震診断は

答 極めて危険



耐震診断の結果、危険度が高いと評価された。改造しても使い勝手が悪い。新築には多額の費用がかかる。さてどうする（本庁舎・大崎）

問

橋本眞一

本庁舎耐震診断の結果、危険度が高いと報告があったが。

答

総務課長

梁、壁、床、柱など目視調査では大きなひび割れは見られなかった。

構造診断では判定指標以下で、地震の震動、衝撃で倒崩壊の危険度が高い。耐震工事をすると思

い勝手が悪くなる。大幅な改造か新築か、議会の意見を聞き決定していきたい。

問

橋本

新庁舎建設は多額の資金が必要となる。

池川、仁淀支所庁舎を利用できないか。

答

町長

耐震工事をしても事務効率が悪くなる。新築用

の基金も考えていくが、池川、仁淀も診断をすれば耐震工事が必要となる。工事中は分散する時期もある。

議長一ロメモ！

百年に一度の不況と言われる二〇〇九年の年明けとなった。

昨年来マスコミの報道も不況一色。都会では職を追われ、住む家もない人々の為に年越し派遣村が開設された。当然のごとく非正規社員を解雇した企業に避難が集中している。

アメリカ発、世界同時不況のあおり

で円高、株安、政府も必死で対策を講じているようだが、地方は数年前から壊滅状態になっているのを忘れてもらっては困る。

三位一体の改革、郵政民営化、農林業は衰退、後期高齢者医療制度による福祉切り捨て、公共事業の削減で建設業者の廃業等数え上げればキリがない。

平成の不況で解雇された人々は本当にお気の毒だが、小泉改革の被害者である地方は今も必死で耐えている。

若藤 敏久

鹿の食害

出たとの情報があるが

答 報告はない

問

橋本

鹿の食害で県下は想像以上の被害が出ているが、本町での被害、捕獲の報告は。

答

産業建設課長補佐

報告の届出はない。鳥獣保護員、猟友会と連携をとり対応して行く。

問

橋本

安居公園線でドライバ

答

池川地域振興課長

猟友会、地元の間取りをして検討する。

ーが鹿と遭遇したと聞いた。

食害が出て樹木が枯れると山が荒廃し、災害のもとになるが。



ドライバーが鹿と遭遇したと聞いた安居公園線。食害はまだ確認されていない。(安居)



地域活性化への支援は

答 黒子に徹して



5月18日約40名が集い、約20kgの釜炒り茶、14kgの煎茶をつくり、大阪の仁淀川会で販売（売上7万9000円）した。秋葉まつりの里を元気にする会（別子）

問

福原克彦

9月20日に知事と町民9人による、対話と実行座談会が行われた。町幹部職員の姿がなかったが考えを聞く。「仲間、稼ぎ、ファンを増やそう」の3本柱の活動が農林水産省の「ふるさと地域力発掘支援モ

答

企画課長

主体は住民で、実践活動のサポートなど黒子役に徹し、持続可能な地域として自立できるよう側面支援を行いたい。

「デル事業」に採択され、今年から5年間の助成を受け活動が始めているが。

問

福原

借入残高が減額されたとはいえ、営業面の改善や経営の安定化計画などが必要だ。今後の見通しは。また雇用の場、製品の流通窓口として地域の重要な役割を担う会社には、若い社長を町外から迎え物質的支援は今回補正に

答

企画課長

計上しているが、精神的な支援は。

借入金返済額が大きいく、経営安定化には一層の努力が必要だが、雇用面で地域への貢献が大で、地域産品販売も期待されている。関係強化し、社長が孤立しないよう支援して

答

池川支所長

経営安定化支援の可能な方策を探ることが重要だ。一企業としての限界もあり、地場産品活用の観点からも関係課と十分協調していきたい。

フードプラン



フードプランに、事業拡大資金として町は2000万円の緊急融資をした（一ノ谷）



今年（12月6日）の「キャンドルナイト」は粉雪の舞う寒い夜でした（長者）

問

福 原

地域活性化グループ「だんだんクラブ」や長者小児童らで棚田を活用したイベントなど活性化を図っているが、住民力には限界があるようだ。

答

仁淀支所長

答

教育長

学校教育に非常に良い影響があり、全力で支援していきたい。

無理をせず、できるときに頑張ってもらっている。花の種や苗、肥料などの助成をしながら見守っていきたい。

問

福 原

受賞に茶業組合は自信を深めているが、製品茶の売上をどう伸ばしていくか。

答

池川地域振興課長



昨年8月、農林水産大臣賞を一席を受賞した「池川茶」。
地域振興の起爆剤としたいが。（坂本）

池川茶を多くのの人に知ってもらえた。受賞の効果をPRにつなげたい。賞を励みに名に恥じない茶を作ることで、県やJAなどと連携し、農家が自信を持って製茶し販売できる生産環境を整えることが重要だ。

問

福 原

自主防災組織を設立し若者と「女性なんでもクラブ」ら住民が助け合っ取り組んでいることに對し、知事は理想的な姿とコメントしているが。

答

総務課長

県下中山間地域の自主防のモデルケースと注目されている。自主性を損なわない範囲で支援した

問

福 原

い。いつの間にか消えた森山集会所の整備計画は。

答

企画課長

地域で検討会を作り検討している。

答

総務課長

要望書は現在保留中。



いち早く自主防災を組織。若者と女性が中心となって理想的な地域づくりを行っている（森山）

問 野村

携帯電話は、全国的にも学校への持込禁止、小・中学校では必要ないとの動きが出ています。町内の状況も大変よい傾向であると思う。メールによる学力の低下、いじめ、運動不足などがあるので、できれば排除、学校への持込禁止の実現を。

答 教育長

携帯電話の所持率は、小学校4%、中学校17%、学校内への持込込みは原則禁止。

問 野村安夫

携帯電話の所持が急増しているが、町内の小・中学生の状況は。

問

野村安夫



携帯電話は持たせるな

答 校内持ち込みは原則禁止

答

教育長

携帯電話に関して、町の指針を各学校に通達している。



携帯電話。小中学生が持つのは是非か

生ゴミたい肥

リサイクルセンターの設置を

問

野村

十月の研修で、栃木県茂木町リサイクルセンターで、たい肥ができるまでの工程を学んだ。町も取り組んでは。

答

副町長

ゴミは広域で処理しているのに生ゴミのたい肥化は、町単独で施設を検討する段階ではない。

答

町民課長

今まで、リサイクルできる物も、可燃ゴミとして処理していたが、分別収集し、売却収入もあり一石二鳥である。

問

野村

国、県に、リサイクルセンター設置を前向きに

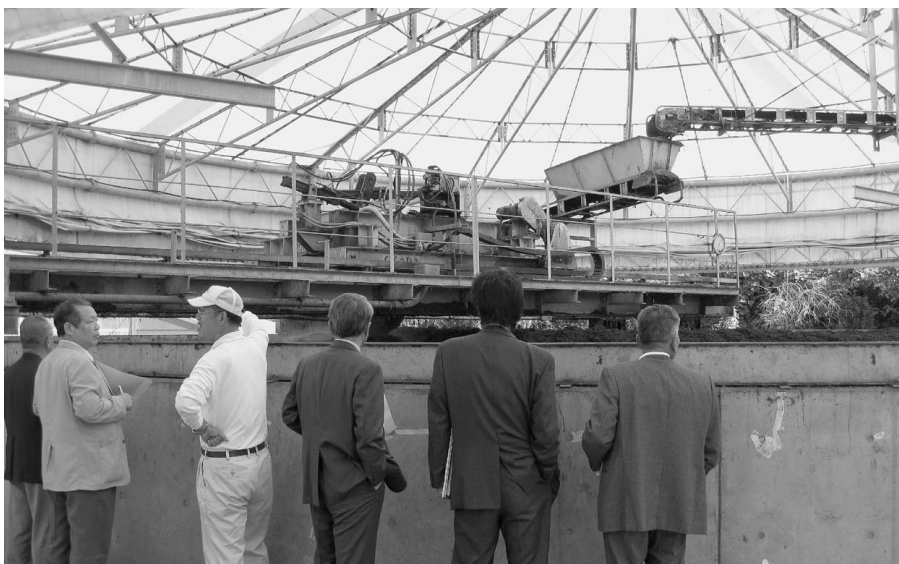
働きかけては。

答 広域で対応

答

副町長

需要と供給のバランスを考えても、仁淀川町だけでは無理がある。



生ゴミは、たい肥化してリサイクルしていくのが時の流れ。写真は、昨年10月議員研修を行った栃木県茂木町のリサイクルセンター（美土里館）



林道ハギノヒラ線の 整備を

答 22年度以降の検討課題



林道ハギノヒラ線の舗装整備は23年度以降に検討すると答弁があった
(ハギノヒラ)

問

西森久雄

本路線は林道桐見川白石川線に接続し、国道が災害などで通行止めの時、迂回路として重要な路線である。

起点から星ヶ窪入口までと終点約250m以外の約3kmは、砂利道のため豪雨や台風後は路面が荒れ通行に支障をきたしている。

答

町長

町単独では難しいと思うが、国や県の事業を導入できないか。

仁淀葉山線は今年度から工事を行い、22年度に完了する予定で、接続するハギノヒラ線の改良は、今後取り組んでいきたい。

問

西森

本路線は長者竹谷地区水源地の上部を横断するため、計画時より汚濁水の流入が懸念されていた。豪雨時などに未舗装部分からの汚濁水が水源地に入り、生活に支障をきたしている。

簡易水道施設の給水区外で、早急に舗装工事を。

答

町長

作業道で舗装の計画はない。

間伐などを行う目的で開設された道で、地権者が維持管理を行う条件であった。

給水地への影響があるなら調査し検討したい。

星ヶ窪大峠線

早急に舗装を

答 作業道で計画していない



星ヶ窪大峠線。水源地の汚濁が進んできたが（竹谷）